

令和2年度 男女パートナーシップ推進コース 指導者養成講座

コロナ禍だからこそ改めて考えよう！ 家庭内の男女共同参画の現状と課題

配信期間／令和3年2月25日～3月20日

対象／県内に在住・在勤の方

要申込／ホームページ専用フォームより

<http://www.f-jhosei.or.jp>

受講料／無料 定員／先着50名



HPへアクセス

YouTube
配信受付中

2月6日に開催された講座をYouTubeで限定配信します。
コロナ禍の現状を解説し、
問題解決に向けた提案をしていただきました。



アメリカワシントン州立大学にて社会学部博士号取得後、カリフォルニア大学リバーサイド校社会学部で20年間教鞭を執る。平成18年から14年間、お茶の水女子大学教授および平成27年からは同学ジェンダー研究所所長を兼務。令和2年から現職。主な研究テーマは家庭内性別役割分業の国際比較。日本家族社会学会会長、日本社会学会理事、日本家政学会家族関係部会役員、国連専門家会議メンバー、内閣府男女共同参画会議専門委員、日本学術会議連携会員などを歴任。平成24年には全米家族関係学会より国際的な家族研究者に贈られるヤン・トロスト賞を授賞。著書・共編著に『「育メン」現象の社会学』（ミネルヴァ書房）、『Family Violence in Japan: A Life Course Perspective』（Springer）など多数。

平成26年から6年間、福井県男女共同参画審議会会長を務められる。

石井クンツ昌子氏（Ishii-Kuntz・Masako）

立教大学社会学部特任教授/お茶の水女子大学名誉教授

《お問い合わせ》 公益財団法人ふくい女性財団

TEL：0776-41-4254

FAX：0776-41-4260

MAIL：f-jhosei@f-jhosei.or.jp